

## 委員会事業方針・事業計画

### 総務委員会

担当副理事長 佐々木 邦 和

#### 基本方針

昭和39年、第18回オリンピックが東京で開催されるなど日本全体が高度成長を続ける中、我々の先輩方は地域の「明るい豊かな社会」の実現を目的として、五所川原青年会議所が創立されました。以降、公益社団法人格取得など移り変わる時代の中に於いても一貫した目的の下、まちや人の発展に向けた市民意識の変革運動を展開して参りました。責任世代である我々はこの創始の精神を受け継ぎ、公益社団法人としての責務を果たさなければなりません。

総務委員会では、今年度6年目を迎える公益社団法人としての責務である「民間が担う高い公共性」を担保する為に総会並びに各種定例会を円滑に執り行い、まちづくり・ひとづくり運動の推進を支えて参ります。併せて、公益社団法人としての責務である外部へ向けた当会の情報公開並びに運動展開をより広域のかつ迅速に発信していくことで地域への認知と浸透を図り、広く地域からの信頼を得られる環境を培って参ります。

「民間が担う高い公共性」の担保を図りながら当会の積極的な運動展開を支えると共に、責務である情報発信を行うことで広く地域からの信頼を得られる環境を整備することは、「明るい豊かな社会」の実現に向けた未来開拓と確信し、邁進して参ります。

委員長 下川原 伸 彦

#### 基本方針

五所川原青年会議所は創始から今日に至るまで地域の「明るい豊かな社会」の実現に向けて挑戦し続けて参りました。各時代、各世代、変動する社会の中で抱える課題に対し最善のまちづくり・ひとづくり運動を展開してきた先輩方の精神を受け継ぎ、我々も同様に、地域の未来を切り拓いて行かなければなりません。そしてその精神をまた次の世代へと受け渡して行く為に、高い公共性を維持した運営を努める責務があります。

今年度、総務委員会では公益社団法人として「民間が担う高い公共性」を維持すると共に、まちづくり・ひとづくり運動の促進を支える為にも、総会、定例会の設営、新年祝賀会、選考委員会委員選挙を滞りなく執り行って参ります。またホームページによる当会の運動発信、会員名簿、基本資料作成による情報公開を十分に行い、対外的、対内的にも信頼を得て我々の運動をより推し進めていく環境を培って参ります。

「明るい豊かな社会」の実現に向け、総務委員会が総会の開催、定例会の運営をこれまで以上に滞りなく行うと共に、公益社団法人として地域からの信頼を得ることはさらなる当会の発展、地域の未来を切り拓く糧となる事を確信し、挑戦してまいります。

## 事業計画並びに事業予算

### 総会・例会の運営

#### ◎新年祝賀会（1月）他1

新体制でのご挨拶と当会の2017年度の活動内容と方針を来賓の方々に向けて発表し、理解を深めて頂くことを目的とした事業

・通信運搬費	45,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	10,000円	・委託費	85,000円

予算 145,000円

#### ◎通常総会（2月）管理費に計上

当会の2016年度の事業報告及び、収支決算報告承認を行うことを目的とした総会

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	10,000円	・賃借料	45,000円

予算 70,000円

#### ◎定例会（7月）他2

役員選考委員会委員選挙

当会の2017年度の役員選考委員会委員を選出することを目的とした定例会

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	5,000円	・賃借料	5,000円
・委託費	5,000円		

予算 25,000円

#### ◎通常総会（9月）管理費に計上

当会の2018年度の役員候補者及び組織図案の承認を行うことを目的とした総会

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	5,000円	・賃借料	15,000円

予算 35,000円

#### ◎定例会（12月）他2

当会の2018年度の基本方針（案）及び収支予算について報告を行い、2018年度への引き継ぎを目的とした例会

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	15,000円	・賃借料	35,000円
・委託費	5,000円		

予算 65,000円

その他の事業 他1

◎ 褒賞の企画

2017年度の青年会議所運動に貢献・功労したメンバー及び委員会への褒賞の企画を目的とした事業  
(LOM内褒賞)

・雑費 70,000円

予算 70,000円

◎基本資料の作成(管理費に計上)

当会の方向性と財務状況を対内外へ向け情報公開を行う事を目的とした基本資料の作成

・通信運搬費 1,000円 ・消耗品費 1,000円  
・印刷製本費 1,000円 ・委託費 250,000円

予算 253,000円

◎会員名簿の作成管理費に計上

当会のメンバーの情報を関係諸団体へお伝えする為の名簿作成

・通信運搬費 1,000円 ・消耗品費 1,000円  
・印刷製本費 1,000円 ・委託費 45,000円

予算 48,000円

◎WEBサイトの企画・運営・更新 他3

地域の方々に当会の認知と理解を深めていただくための情報公開を目的としたWEBサイトの企画、運営、更新

・委託費 29,000円

予算 29,000円

◎定例会の設営

事業費合計 740,000円

## 青少年育成委員会

担当副理事長 檜 崎 誉 人

### 基本方針

豊かな自然と人の温もりの中で我々を育み続けてきた、我がふるさと五所川原。愛するこの地域の次なる担い手は、今を生きる子ども達に他なりません。我々の幼少期に比べ核家族化や社会の情報化が進み、青少年に掛かるストレスも増加の一途を辿っています。そんな時代だからこそ、地域の未来である子ども達の心を強く、そして豊かに成長させなければなりません。自らの可能性に「挑戦」し、自分自身の未来、そして地域の未来を切り拓いて行く人材を育成する事が必要だと考えます。

その為に、当委員会では青少年の感受性や社会性を育むことを目的として、日常生活では決して経験する事の出来ない様々な体験、学びの場を創出する事で、思いやり溢れる青少年の育成へと繋げて参ります。また、日々の厳しい稽古に耐え、自分自身の未来を切り拓く事に「挑戦」している地域の子どものバックアップは勿論、今年度も関係諸団体と連携して「わんぱく相撲大会」を開催し、心身ともにたくましく、活力ある青少年を育成して参ります。

我々の事業を通じて経験した友情、困難、挫折、感謝、感動は必ず今後の人生を照らす光となります。その光が周囲にそして地域に波及し、やがては「明るい豊かな社会」の創造に繋がるものと確信し、一年間邁進して参ります。

委員長 葛 西 良 樹

### 基本方針

現代の子ども達を取り巻く環境は、目まぐるしい速度で変化し続けています。その中で、社会体験や生活体験の不足により、自立の遅れ、将来への夢を描けない子ども達も少なくありません。今後、地域の未来を支え担って行かなければいけない子ども達が、自らの可能性に気づき、自分自身の考えを持ち行動していける人材になる為の道筋を作っていかなければいけません。元気いっぱい未来へと羽ばたいて行く為にも「挑戦」する機会を創出し、多様な体験を経験し成長して行く場が必要だと考えます。

そこで、青少年育成委員会では「挑戦」の機会として、新たな風を吹き込んだ徒歩事業を開催し、「じょっぱりロード」として再開して参ります。様々な体験を通して、感受性豊かに自分自身で行動し、社会に通用する青少年の育成を目指して参ります。また「わんぱく相撲大会」を開催し、自分自身の未来へ「挑戦」している子ども達の心身の鍛錬、相撲が持つ礼節を知り、人を思いやる気持ちや感謝の心を育めるように促し、成長の場として行動して参ります。

事業を通じて培った経験は、今後自分自身が成長していく為の糧となり、人生において大きな財産となります。また、この財産は今後、地域の宝となり、「明るい豊かな社会」の創造に繋がるものと確信し、一年間邁進して参ります。

## 事業計画並びに事業予算

### ※例会の主管

#### ◎公開定例会（5月）公1

わんぱく相撲津軽地区大会（仮称）

心身の鍛錬、相撲が持つ礼節を知り、人を思いやる気持ちや感謝の心を育み、自分自身の未来の為に、全国大会への出場権を目指す大会を開催し、運営及び設営する定例会。

・通信運搬費	6,000円	・消耗品費	15,000円
・印刷製本費	70,000円	・賃借料	20,000円
・保険料	30,000円	・委託費	55,000円
・雑費	50,000円		

予算 246,000円

#### ◎公開定例会（8月）公1

「じょっぱりロード2017」（仮称）

参加者・ボランティア・JCメンバーそれぞれが「徒歩事業」を通じ感受性と社会性を育み、自身の成長を促す公開定例会。

・旅費交通費	300,000円	・通信運搬費	10,000円
・消耗品費	90,000円	・印刷製本費	30,000円
・賃借料	10,000円	・保険料	30,000円
・諸謝金	25,000円	・委託費	250,000円
・雑費	325,000円		

予算 1,070,000円

### ※その他の事業

#### ◎その他の事業（10月）公1

「じょっぱりロード2017」報告会（仮称）

参加者・ボランティア・JCメンバーと共に「じょっぱりロード2017」を振り返る事業報告会。

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	5,000円	・賃借料	10,000円
・雑費	30,000円		

予算 50,000円

#### ◎わんぱく相撲全国大会（7月）公1

津軽地区大会で上位に入賞し、全国大会へ出場する子ども達の引率。

・旅費交通費	96,000円	・通信運搬費	18,000円
・支払負担金	10,000円	・雑費	55,000円

予算 179,000円

事業費合計 1,545,000円

## まつり委員会

担当副理事長 坂 本 興 平

### 基本方針

「奥津軽虫と火まつり」は地域の先人達に支えられ、本年で45回目を迎えることとなります。「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穡」「悪疫退散」の祈りを込めて、1973年から毎年開催されて参りました。この伝統ある「地域の幸せ」を願うまつりも、近年は参加団体の減少、後継者不足等様々な問題に直面しております。まもなく半世紀に迫るこの伝統の燈火を絶やさぬ様、関係諸団体との意識共有と連携を図りながら、より継続的に運動を展開して行かなければなりません。

まずは、半世紀を見据え自分たちの年代よりも若年層の方々へ広く「奥津軽虫と火まつり」への参画を促します。そして、参画いただいた世代のさらに下の世代へ、この素晴らしいまつりを広く継承して参ります。さらに、我々青年会議所メンバー一人ひとりが、より当事者意識をもち関係諸団体と連携を密にしながら、現行の問題点や課題を少しずつ前進させることにより、節目の半世紀に繋がります。また、伝統ある地域のまつりが未来永劫に渡り、運動展開できるよう情熱をもって活動して参ります。

半世紀を見据えた「奥津軽虫と火まつり」。先人達の行跡に敬意を表し、地域の弥栄を祈願するこの素晴らしいまつりを、今後の地域を担う次世代に継承することにより、「地域の未来を切り拓き」「明るい豊かな社会の実現」に繋がるものと確信し、一年間職責を果たせるよう邁進して参ります。

委員長 對 馬 央 也

### 基本方針

1973年より開催され、本年で45回目を迎える「奥津軽虫と火まつり」。自然との苦闘の歴史から生まれた「地域の幸せ」を願うまつりは、いよいよ半世紀に差し掛かろうとしています。地域に愛されているこの伝統行事も、近年は参加団体の減少、後継者不足等の問題に直面しています。まもなく節目を迎える伝統の燈火を絶やさぬ様、関係諸団体との意識共有・連携を図り、まつりの更なる未来を切り拓くため、より継続的な運動を展開して行かなければなりません。

その為にも、高校生・大学生を対象とした親善大使活動を継続し、親善大使に登録する定例会を開催します。その中で、まつりの意義・大切さを学んだ親善大使による地域への周知活動、そして小学生へと広く伝承して参ります。また、関係諸団体・当会OBそして青年会議所メンバーが現行のまつりの課題を話し合い、節目に向け解決へと前進する為の場を創出します。そして、関係諸団体と一丸となり、節目へと一歩踏み出した「奥津軽虫と火まつり」を開催し、次代に向けて伝承して参ります。

半世紀の節目へと歩き出す「奥津軽虫と火まつり」。50回目を見据えて運動を展開し、この歴史ある伝統行事を次世代に伝承していくことにより「地域の未来を切り拓き」「明るい豊かな社会の実現」そしてこの地域の「弥栄」に繋がるものと確信し、一年間職責を果たせるよう邁進して参ります。

## 事業計画並びに事業予算

### ※例会の主管

#### ◎公開定例会 (4月) 公2

「奥津軽虫と火まつり親善大使登録会～学び伝えよう「地域の幸せ」を願うまつり～」(仮称)  
 高校生と大学生を対象に「奥津軽虫と火まつり」の周知活動をしていただく親善大使の登録会を行う。  
 その中で、「地域の幸せ」を願うまつりの歴史・由来・大切さを認識して頂き、親善大使活動を意欲的に行っ  
 ていただく事を狙いとした定例会。

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	15,000円	・賃借料	5,000円
・保険料	5,000円	・委託費	5,000円
予 算	40,000円		

予算 40,000円

#### ◎公開定例会 (6月) 公2

「奥津軽虫と火まつり」

公益社団法人五所川原青年会議所が主催し、地域の人々や参加者と共に「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穡」「悪疫退散」の祈りを込め、「地域の幸せ」を願う定例会。

・旅費交通費	5,000円	・通信運搬費	80,000円
・消耗什器備品費	30,000円	・消耗品費	900,000円
・印刷製本費	100,000円	・賃借料	300,000円
・保険料	210,000円	・諸謝金	200,000円
・租税公課	15,000円	・支払負担金	30,000円
・委託費	2,000,000円	・衛生費	160,000円
・雑 費	140,000円		

予算 4,170,000円

### ※その他の事業

#### ◎奥津軽虫と火まつりの周知、そして伝承(仮称)(通年)公2

「奥津軽虫と火まつり親善大使」が活躍する事業。

・旅費交通費	5,000円	・通信運搬費	5,000円
・消耗品費	5,000円	・印刷製本費	10,000円
・賃借料	5,000円	・保険料	10,000円
・委託費	50,000円		

予算 90,000円

#### ◎奥津軽虫と火まつりを考える事業(仮称)(7月)公2

関係諸団体並びに当会OBを交え、「奥津軽虫と火まつり」の問題点や課題について意見交換を行い、  
 節目となる第50回に向け、解決へと前進する為の事業。

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	15,000円	・賃借料	5,000円
・委託費	5,000円		

予算 35,000円

事業費合計 4,335,000円

## まちづくり委員会

担当副理事長 田 中 宏 明

### 基本方針

私たちが生まれ育ち愛する「ふるさと」五所川原。人情に厚い文化を持つこのまちは、かつての高度経済成長期からバブル期にかけて、中心街は若者が多く賑やかで活気に溢れていました。しかし現在、そこにかつての活気は感じられません。なぜなら、まちの喫緊の課題である人口減少が加速し、衰退の一途を辿っているからです。未来を担う責任世代として、私たちは「ふるさと」の衰退を食い止めるべく、多年に渡り継続的に、また新たな地域活性に取り組まなければなりません。

その為には、先ず、私たちがこのまちの現状を理解し、会員相互にその意識共有を図るとともに、新たな地域活性として、広域的な取組に意義があると考えます。また、継続した地域活性として、市民の参画意識の向上を図りつつ、「市民」「行政」「当会」が三位一体となって取り組む必要があります。そこで、その為の組織づくりを行い、市民が参画できる機会と、その意見を実現できる機会を創出致します。これを「ふるさと」の未来を見据えた「まちづくり」と捉え、運動を展開して参ります。

人情に厚いこのまちの人は、「ふるさと」を想う心もまた厚く、「まちづくり」を継続し「ふるさと」の衰退が食い止められたその日には、たくさんの人が強く結びついた「愛溢れるふるさと」となり、延いては、「明るい豊かな社会」の実現に繋がるものと確信し、一年間邁進して参ります。

委員長 平 田 浩 介

### 基本方針

自分たちの住み暮らすこの地域は、山や海や湖など自然豊かで、四季折々の美しさがあり、特に夏には、たくさんの祭りが開催され、大いに盛り上がりを見せています。しかし、その一方で、少子高齢化や人口減少が進み、後継者不足や地場産業の衰退も問題視されております。この問題をこの地域に住み暮らす「人」による前向きな社会参画意識を持って、地域の未来の為に行動を起こし、地域活性に繋げていかなければなりません。

その為には、2012年度から継続して行われている、「市民」「行政」「当会」の協働による「市民討議会」を開催して、地域に起こっている課題と特色について意見を交わし、市民一人ひとりに前向きな社会参画意識を抱いて頂けるよう、事業を計画して参ります。そして、「市民討議会」で提案された意見を実現する事業と「市民討議会報告会」を開催するとともに、この地域で行われている「まちづくり」運動の情報を共有できる事業を行い、地域全体のまちづくり運動の意識向上を目指して参ります。

この地域に住み暮らす「人」が、前向きな社会参画意識を持って地域を想い行動し、「まちづくり」運動を展開して行く事で、人口減少にも歯止めをかけ、地域活性に繋がって行くとともに、当会が目指す「明るい豊かな社会」の実現に繋がるものと確信し、一年間邁進して参ります。



## 事業計画並びに事業予算

### ※例会の主管

#### ◎公開定例会 2017年度五所川原市民討議会報告会 (11月) 公3

当年度の五所川原市民討議会とその実行事業の結果を五所川原市・市民に報告する定例会

・通信運搬費	8,000円	・印刷製本費	10,000円
・委託費	3,000円		

予算 21,000円

### ※その他の事業

#### ◎2017年度「まちづくり」運動を考える事業 (3月) 他2

地域全体が「まちづくり」運動の情報を共有できる事業

・通信運搬費	8,000円	・賃借料	50,000円
・消耗品費	10,000円	・委託費	100,000円
・印刷製本費	40,000円	・雑費	50,000円

予算 258,000円

#### ◎2017年度五所川原市民討議会 (7月) 公3

前向きな社会参画意識を持って、「まちづくり」運動を考える市民参加型討議会

・支払寄付金	200,000円
--------	----------

予算 200,000円

#### ◎2017年度五所川原市民討議会実行事業 (10月) 公3

当年度の五所川原市民討議会でも出された意見を基に具現化する事業

・通信運搬費	8,000円	・賃借料	30,000円
・消耗品費	10,000円	・委託費	200,000円
・印刷製本費	10,000円	・雑費	12,000円

予算 270,000円

#### ◎2017年度五所川原市民討議会報告会 (11月) 公3

当年度の五所川原市民討議会とその実行事業の結果を五所川原市・市民に報告する報告会

・支払寄付金	150,000円
--------	----------

予算 150,000円

事業費合計 899,000円

## 会員拡大・交流委員会

担当副理事長 中西 宗 興

### 基本方針

我々青年会議所のまちづくり運動は、例えるなら水面に投じた小石による波紋が広がっていくようなものです。波紋をより大きくする為には投げる小石の数を増やす必要があります、会員数の拡大は運動の発信力に直結します。また会員交流の促進により、組織の運動意識を共有する事で皆が同じベクトルに向けて運動を推進する事により当会の運動をより強く地域に伝播することができます。我々が運動を強く地域に伝播し、次の世代にバトンを繋ぐ為にも会員拡大と相互交流を強く進めなければなりません。

その為にはまず、当会の中で会員拡大の重要性を強く意識付けいたします。そして、本会との綿密な連携を取りながら、会員拡大を推進して参ります。さらに、当委員会が中心となって会員拡大に向けた情報共有をし、会員全員を巻き込んだ拡大運動をして参ります。また、会員相互の交流を進める事により、目的意識の共有を図ります。そして、先輩諸兄、家族との交流を進める事により、当会の運動に一層の御理解、ご協力を賜れるようにして参ります

当委員会が中心となり、会員拡大・交流を進めていく事により、青年会議所運動を進める目的意識が統一され、より一層当会の運動を地域に伝播していく力を強くしていく事が、「明るい豊かな社会」の実現に繋がると確信し、一年間邁進して参ります。

委員長 山田 貴 之

### 基本方針

会員拡大活動は、例えるなら人間にとっての呼吸のようなものであり、一時も休むことは許されません。会員拡大活動の停滞による会員数の減少は、青年会議所運動の地域への波及力を弱める事に繋がり、また会員交流は会全体の青年会議所運動の目的意識の統一を図る大切な手段であります。その意識の統一により、当会の運動を地域へ強く伝播する事ができます。この尊い運動を次代へ引き継いでいく為にも、会員拡大並び会員交流に真剣に取り組む必要があります。

その為にはまず、会全体に定期的に対象者情報を求め、拡大対象者リストを作成します。会員拡大活動に対する当事者意識を浸透させ、会員拡大の重要性を強く意識付けさせます。そして、先輩諸兄並び他団体へ会員拡大活動を行うことで、幅広く会員候補者の情報収集に努めます。また、青年会議所の魅力を発信する会員拡大の定例会を行います。さらに OB 交流会、家族交流会を行い会全体の運動に一層の御理解、御協力を賜れるようにして参ります。

当委員会が会員拡大・交流事業活動の中心となり、会員相互の交流を深めていき、また、多くの会員に拡大の重要性を伝えていきます。そして一人でも多くの仲間を増やしていくことにより当会の活動を強く地域に伝播し、次代へと繋げられると確信し、一年間邁進して参ります。

## 事業計画並びに事業予算

### ◎ OB 交流会（2月）他1

諸兄先輩方と会員が親睦を深めてもらうことを目的とする事業

・通信運搬費	3,000円	・印刷製本費	3,000円
・消耗品費	10,000円	・委託費	10,000円
・雑費	5,000円		

予算 31,000円

### ※例会の主管

#### ※拡大に繋がる拡大事業

### ◎定例会（3月）他2

会員拡大と会員相互の交流の意義を理解し、行動に繋がることを目的とした定例会

・通信運搬費	6,000円	・消耗品費	10,000円
・印刷製本費	5,000円	・賃借料	5,000円
・諸謝金	30,000円	・雑費	10,000円

予算 66,000円

### ◎異業種交流会（4月）他1

会員拡大に繋げることを目的とする事業

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	10,000円	・雑費	5,000円

予算 25,000円

### ◎家族交流会（12月）他1

会員家族同士が親睦を深めることを目的とする事業

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	20,000円
・印刷製本費	3,000円	・賃借料	10,000円
・保険料	5,000円	・委託費	5,000円
・雑費	20,000円		

予算 68,000円

### ◎ 会員拡大事業（通年）他2

新入会員の拡大を目的とする事業

・通信運搬費	10,000円	・印刷製本費	1,000円
・委託費	33,000円		

予算 44,000円

事業費合計 234,000円

## 会員研修特別室

担当室長 佐々木 篤 史

### 基本方針

私たちはJAYCEEとして、先輩諸兄の頃より、地域における「明るい豊かな社会」の実現を目指し、邁進して参りました。今後もこれを継続し、更なる発展を目指すためには、青年経済人としての立場でのみならず、青年会議所という地域の未来を切り拓く組織の一員として、会員一人ひとりの資質を向上させることが必要不可欠です。また、受け継がれた知識や経験をたゆむことなく私たちが受け継ぎ進化させ、更なる未来へと「挑戦」することが私たち青年会議所会員としての務めであります。

今年度、会員研修特別室では当会会員としてあるべき姿を改めて見つめ直すと共に、個々の更なる飛躍、そして、地域の未来の為に繋がる様、多面的な知識や経験を習得できる機会を創出し、幅広い視野をもつことができる人材を育成致します。また、新入会員を対象に当会会員としての基礎や資質を学ぶ機会を設けることにより、当会が積み重ねてきた知識や経験が継続的に受け継がれ、更なる未来へと「挑戦」できる人材を育成致します。

会員一人ひとりが多面的な知識や経験を経て、資質を学び研鑽され、輝き溢れる自分自身へと飛躍することが、当会全体の成長のみならず、会社や家族、地域の発展へと繋がり、如いては地域の未来を切り開き、「明るい豊かな社会」の実現へ繋がるものと確信致します。

担当理事 秋 元 隆

### 基本方針

我々は20歳から40歳までの限られた間に、青年経済人として、また青年会議所という地域の未来を切り拓く組織の一員として、偏ることなく地域活性化の為に学んでいかなければなりません。当会会員として様々な運動をしていく中で、会員同士がお互いに切磋琢磨し、お互いを高めていくためにも多面的な学びの場を設け、会員一人ひとりが研鑽し資質を高め自己の成長へ繋げると共に、五所川原青年会議所全体の成長に繋げていかなければなりません。

そのためには今年度会員研修特別室の活動と致しまして、新入会員が会員としてこれからの当会をしっかりと担っていく為の「思い」や「基礎」を学ぶ場を設けていきます。また、青年会議所会員としての視野も含めた多面的な視野での学びの機会を設け自己の成長へ繋げると共に、諸先輩の考えを学ぶ場を設け、知識や経験を習得できる機会を創出し、「修練」「奉仕」「友情」という三信条の基礎を深く理解し、幅広く活躍できる人材の育成を致します。

会員一人ひとりがしっかりと学び、その学び得たことを実践し、自分自身が飛躍することにより、当会のみならず、会社や家族、地域からも必要とされる人材・団体となれるものと信じ、一年間邁進して参ります。

## 事業計画並びに事業予算

### ※例会の主管

#### ◎定例会（10月）他2

会員の資質向上を目的とした定例会

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	3,000円
・印刷製本費	3,000円	・賃借料	6,000円
・諸謝金	10,000円	・委託費	10,000円

予算 37,000円

### ※その他の事業

#### ◎新入会員セミナー（未定）他2

青年会議所会員としての「基礎」を学ぶセミナー

・通信運搬費	3,000円	・印刷製本費	5,000円
・賃借料	5,000円	・委託費	5,000円

予算 18,000円

#### ◎会員の資質向上につながるセミナー（2月）他2

先輩から学ぶ青年会議所の活かし方（仮称）

・旅費交通費	6,000円	・通信運搬費	5,000円
・消耗品費	3,000円	・印刷製本費	3,000円
・賃借料	10,000円	・諸謝金	10,000円
・委託費	10,000円	・雑費	5,000円

予算 52,000円

事業費合計 107,000円

## 年間事業スケジュール (事業)

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
日本青年会議所	京都会議 京都 20日(金)~22日(日) 総会 京都21日(土)		総会 東京 25日(土)			ASPAC モンゴル 8日(木)~11日(日)
東北地区協議会	正副会議 福島 6日(金) 正副拡大会議 仙台 27日(金) 役員会議 福島 16日(月) 会員会議所会議 京都 21日(土)	正副拡大会議 仙台 24日(金) 役員会議 仙台 10日(金) ゼミナール開校式 仙台11日(土)	正副拡大会議 白河 26日(日) 役員会議 水沢 17日(金) ゼミナール第1講座	正副拡大会議 大曲 23日(日) 役員会議 黒石 7日(金) ゼミナール第2講座	正副拡大会議 高島 22日(月) 役員会議 花巻 7日(日) ゼミナール第3講座	正副拡大会議 三沢 23日(金) 役員会議 郡山 2日(金) ゼミナール第4講座
青森ブロック協議会	役員会議 青森 11日(水) 会員会議所会議 黒石 28日(土) アカデミー大学開 校式・第一講座 黒石 28日(土) 新春名刺交歓会 黒石 28日(B21土)	役員会議 青森 8日(水) 会員会議所会議 五所川原 25日(土)	役員会議 青森 8日(水) 会員会議所会議 三沢 18日(土) アカデミー大学 第二講座	役員会議 青森 5日(水) 会員会議所会議 八戸 15日(土)	役員会議 青森 10日(水) 会員会議所会議 むつ 27日(土) アカデミー大学 第三講座	役員会議 青森 1日(水)・28日(水) 会員会議所会議 十和田 14日(水) アカデミー大学 第四講座
五所川原青年会議所	新年祝賀会	通常総会	定例会	公開定例会	公開定例会	奥津軽虫と火まつり
理事会	10日(火)	5日(日)	5日(日)	5日(水)	5日(金)	5日(月)
総務委員会	新年祝賀会	通常総会				
青少年委員会					わんぱく相撲 津軽地区大会	
まつり委員会				定例会主管		奥津軽虫と火まつり
まちづくり委員会			「まちづくり」運動を 考える事業			
会員拡大・交流委員会	会員拡大事業(通年)	OB交流会	定例会主管	異業種交流会		
会員研修特別室		会員の資質向上に 繋がるセミナー				

  

	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
日本青年会議所	サマーコンファレンス 横浜 22日(土)~23日(日)		全国大会 埼玉 28日(木)~10月1日(日)		JCI世界会議 【オランダ】 6日(月)~10日(金)	
東北地区協議会	正副会議 盛岡 30日(日) 役員会議 村山 14日(金) ゼミナール第5講座	正副会議 釜石 18日(金)	正副会議 とめ 22日(金) 役員会議 水沢 1日(金) ゼミナール閉校式 水沢 2日(土) 東北青年フォーラム 水沢 2日(土)~3日(日)	正副協議 天童 27日(金) 役員会議 能代 13日(金)	正副会議 八戸 24日(金) 役員会議 あぶくま 12日(日)	役員会議 福島 1日(金) 会員会議所会議 福島 2日(土)
青森ブロック協議会	会員会議所会議 弘前 1日(土) アカデミー大学 第五講座 弘前 1日(土)~2日(日) ブロック大会 弘前 1日(土)~2日(日)		役員会議 青森 6日(水) 会員会議所会議 青森 16日(土) アカデミー大学 第六講座・閉校式	役員会議 青森 11日(水) 会員会議所会議 黒石 28日(土)	役員会議 青森 15日(水) 会員会議所会議 未定+F3625日(土)	
五所川原青年会議所	選考委員会選挙	公開定例会	通常総会	定例会	公開定例会	定例会
理事会	5日(水)	5日(土)	5日(火)	5日(木)	5日(日)	5日(火)
総務委員会	選考委員会選挙		通常総会			定例会主管
青少年委員会	わんぱく相撲 全国大会	じよっぱりロード 2017		じよっぱりロード 2017報告会		
まつり委員会						
まちづくり委員会	五所川原市民 討議会			五所川原市民 討議会実行事業	五所川原市民 討議会報告会	
会員拡大・交流委員会						家族交流会
会員研修特別室				定例会主管		